

公開講座について

公開講座の実施

新たに提言された「ネイチャーポジティブ」や「流域総合水管理」を市民の方に「自分ごと」として考えていただき、市民と自然が共生する社会の構築を目指していくために令和6年12月17日に公開講座を開催しました。

地域共創流域治水に参画されている蔵治山部会座長と萱場氏、ネイチャーポジティブに精通している森氏の3名に話題提供・鼎談していただきました。

当日の様子を後日Youtubeで配信します。



【公開講座の内容を一部紹介】

- 何とか×何とかを考える際にトレードオフの関係になる。何かをやると何か失われることもある。（蔵治氏）
- 経験というものが消失している。良い環境やいい川が分からなくなっている。（森氏）
- 横軸に治水としての効果、縦軸に環境としての効果をとって考えることが重要。プラスにならなくてもマイナスにしないということが重要である。（森氏）
- 地域が豊かになるような仕組みや地域のことはなるべく地域で何かできるようにしなければならない。（萱場氏）
- 平成の初期は景気が良く、環境保全がエンジンになった。今はそうではないため治水にもよく、環境にも良いという論点で何とか多自然川づくりを見直せないかということで球磨川の地域共創流域治水プロジェクトの洪水波形の研究に着手した。（萱場氏）
- 矢作川流域には名だたる企業がたくさんあるため、矢作川流域圏大学のようなものがあったら良いのではないかと。若者が集い、幸せに暮らすような流域の姿というのを、森林、農地、都市、川、海、に関わる全ての人で議論していく。（蔵治氏）